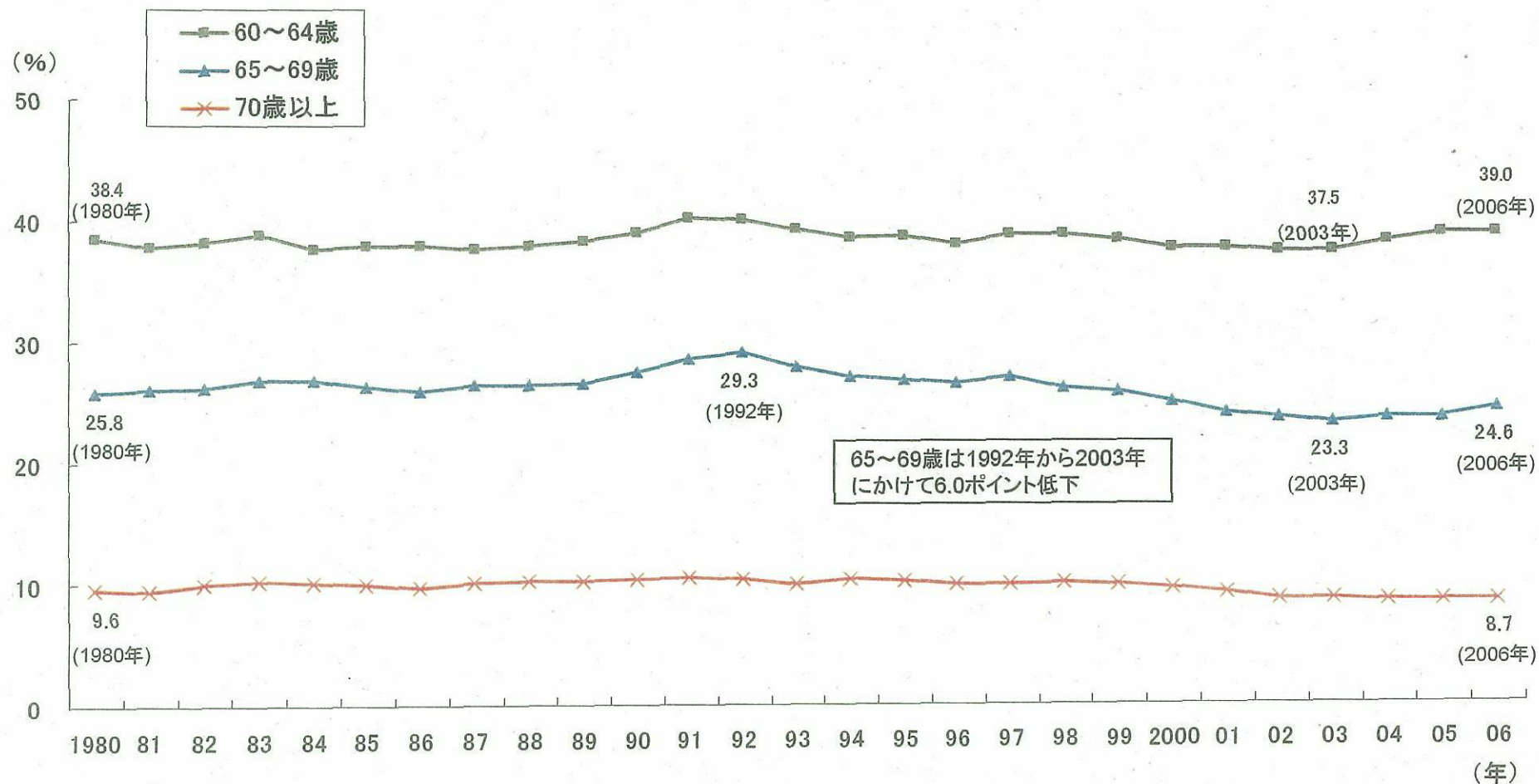


年齢別就業率の長期的推移(60歳～、女性、5歳階級刻み)

- 女性の65～69歳の就業率は1990年初頭から低下傾向となっているが、2004年以降、やや上昇している。
- 60～64歳及び70歳以上の就業率はこのところやや上昇している。
- 70歳以上の就業率は、おおむね横ばいとなっている。



(資料出所)総務省統計局「労働力調査」

(24) 高齢者の労働力率の国際比較

○日本は諸外国と比較して、男女ともに高齢者の労働力率が高い。

			50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
日本	2005	男	95.7	93.6	70.3	29.4
		女	68.8	60.0	40.1	12.7
アメリカ	2005	男	85.9	77.6	58.0	19.8
		女	74.0	65.6	45.8	11.5
イギリス	2005	男	※ 88.9	77.9	55.5	9.2
		女	※ 78.6	63.5	31.0	4.3
フランス	2005	男	87.4	66.0	18.5	1.7
		女	78.5	56.0	16.7	0.9
ドイツ	2005	男	91.1	82.0	40.6	5.0
		女	78.2	64.4	23.0	2.1
スウェーデン	2005	男	88.7	85.4	65.1	—
		女	84.7	79.5	57.0	—

(資料出所) ILO. Year Book of Labour Statistics.
 イギリス: OECD "Labour Force Statistics"
 日本: 総務省「労働力調査」(2005年)

労働力率: 15歳以上人口に占める労働力人口の割合
 労働力人口

日本: 就業者と完全失業者の合計

アメリカ: 労働力から軍人を除く

イギリス、フランス、ドイツ、スウェーデン: 就業者と失業者の合計 ※イギリスのみ45～54歳